



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 放射線腫瘍科 河守 次郎

【研究責任者】

聖路加国際病院 放射線腫瘍科 河守 次郎

【研究代表者】

東京大学医学部附属病院 放射線科 扇田 真美

聖路加国際病院で癌による血尿に対し放射線治療を受けた方 を対象とした血尿への緩和的放射線治療に関する研究

1.研究の対象

- ・2006年8月1日～2020年3月31日の間に当院放射線腫瘍科で癌による肉眼的血尿に対し緩和目的で放射線治療を受けられた方

2.研究の目的・方法

癌が進行して尿路に浸潤し血尿を生じることがあります。血尿が悪化すると頻回の輸血を必要とし、生活の質の低下や時には命に関わる事態も起きることがあります。止血も目的とした緩和的な放射線治療が行われますが、血尿に対する緩和目的の放射線治療の治療成績については十分な報告がありません。本研究では肉眼的血尿に対する緩和的放射線治療の治療成績を明らかにすることにより癌の進行による血尿に対する今後の治療に役立てられると考えています。

本研究では肉眼的血尿に対する緩和的放射線治療の治療成績を解析することにより、肉眼的血尿に対する適切な治療法を明らかにすることを目的としています。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や、画像検査、病理検査、放射線治療記録などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年6月30日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、放射線治療等の治療歴、血液検査、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

4.外部への試料・情報の提供

- ・データの授受は、診療録から得られた情報の個人情報情報を消去し特定の関係者以外がアクセスできない状態で記録媒体もしくは電子的配信を用いて行います。データと研究の対象の方との対応表は、各施設の研究責任者が適切に保管・管理します。

5.研究組織

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関	東京大学医学部附属病院
研究責任者	扇田真美 放射線科 助教

共同研究機関 聖路加国際病院
研究責任者 河守 次郎 放射線腫瘍科 部長